竹野内町長のタウンミーティングをレポート!

KAITA Town Meeting 海田の未来 みんなで考えよう!

〈テーマ〉「安全・安心!町民のための防災トーク～知って防災!ライフハック実践術～」

6月8日、今年度2回目となる「町長タウンミーティング」が役場庁舎で開催されました。ゲストスピーカーに平成30年7月豪雨災害の現場に立った経験を持つ、海田町消防団の信原団長、陸上自衛隊の高橋さん、塩田さんの3名をお迎えし、体験談や実演を通じて、参加者と防災の大切さを共有する貴重な機会となりました。

海田町長　竹野内 啓佑

10年後、誰もが憧れるまちを目指し、日々奮闘中。おすすめの防災グッズはビスコ缶。

海田町消防団　信原 宏 さん

20歳より消防団に入団。平成30年7月豪雨災害の時には、副団長として現場で活躍。現在、団長として新しい取組に挑戦中。

スピーカープロフィール

陸上自衛隊
高橋 信哉 さん(左)・塩田 広治 さん(右)

海田市駐屯地第46普通科連隊に所属。高橋さんは第2中隊長を務めるとともに有事に備え、日々訓練を行っている。

平成30年7月豪雨災害を語り継ぐ

信原さんは当時の活動状況について、「マンションの倒木撤去、足の不自由な方の避難支援、こどもたちの通学路の土砂除去など、消防団総出で対応した」と振り返り、「被害は甚大だったが、地域の皆さんの支えに助けられた」と感謝を述べました。そして当時、ボランティアとして参加してくれた高校生のうちの2人が現在、町職員として働いているという心温まるエピソードが紹介されると、会場には笑顔が広がりました。

続いて、高橋さんは、豪雨災害当時の自衛隊の活動を紹介。海田駐屯地の部隊が不在だったため、急きょ、九州の部隊から約3000人が派遣され、自らも先頭に立って広島へ向かったこと、また現地では交代しながら活動が続き、被災地の生活用水を優先するために、一部の自衛隊員たちは泥水で顔を洗うこともあったというエピソードを紹介。過酷な任務の実情に思わず身を乗り出して聞き入る参加者の姿も見られました。

「自分ごと」として防災を考える

後半は「自助・共助・公助」をテーマにしたフリートークに移行。「『町は何日分の備蓄をしているのか?』とよく聞かれるが、備蓄は"避難者1日分"しかない」と町長。少しどよめいた会場の反応を受け止めながら「大規模災害が起きた時、町民全員に十分な支援物資を届けるのは現実的に難しい。だからこそ、『行政にも限界がある』ということを正直にお伝えし、各家庭での備えをお願いしたい」と呼びかけました。

消防団の信原さんも、「自分の命は自分で守るという意識が大切。消防団でも"まず家族の安全を確認してから出動せよ"と伝えている」と、"自助"の大切さを強調しました。

「自助という防災意識をどう広げていけばいいか」という町長の問いかけに対しては、高橋さんが「"耳たこ戦術"が有効だと思う」と回答。「日頃から同じことを繰り返し伝えるのが大事。一度言っただけでは人には伝わらない。『またその話?』と思われるくらいでちょうどいい」と語り、町長もうなずきながら「継続の大切さを実感しました」と応じました。

おすすめライフハック術

続く実演コーナーでは、平成30年の災害当時は現場での隊員たちの活動状況の掌握と、地図等の作成に関わったという塩田さんがサランラップや段ボールを使った応急処置法を紹介。感染予防の方法や傷のラップ保護、段ボールを使った骨折固定など、身近なものでできる応急処置に、参加者からは「なるほど!」「知らなかった!」という驚きの声が相次ぎました。

町長も「防災は日常の延長線にあるもの」と話し、「フェーズフリー」や「ローリングストック」といった、暮らしに溶け込む備えの考え方を紹介。例えば、備蓄食として「ビスコ缶」を活用したり、水や非常食をネット通販の定期便で補充するなど、無理なく続けられる工夫を提案しました。

地域で支え合う防災へ

終盤、信原さんから「消防団の団員が不足している」という現場の切実な声も上がりました。地域の防災力を保つために、少しでも多くの方に関心を持ってほしいという思いを込めた呼びかけに、町長も「消防団に入ることは、自分自身の"守備力"を高める手段にもなる。こうした機会を通じて、自助の意識を高め、共助・公助との連携が自然と生まれるようなまちを目指したい」と応えました。

最後に町長は、「災害は"いつか"ではなく、"いつでも"起こるもの。自分の命を守る意識こそが、防災の基本」とした上で、「町としても、皆さんに『ここまでは自分で』『ここからは行政が』という役割を丁寧に伝えていきたい」と話し、参加者それぞれの心に、小さな備えの種を残して、会は幕を下ろしました。

「竹野内町長のタウンミーティング」は、第5次海田町総合計画後期計画策定に向け、今後もさまざまなジャンルで活躍されている皆さんのお話を聞かせていただきたいと考えています。

くわしくはこちらを確認してください。

かいたブランド課(役場3階)　☎823-9212　FAX.823-9203

1 水道料金改定(素案)のパブリックコメントについて

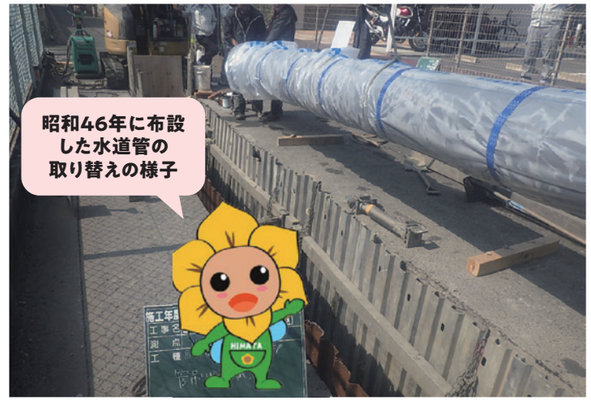
問 上下水道課(役場3階)　☎823-9214　FAX.823-9839

近年、全国的に水道施設の老朽化に伴う漏水や断水が発生し、住民生活に大きな影響を与えています。海田町においても、今対策を講じなければ老朽化がさらに進行し大規模な漏水や断水の危険性が高まっていきます。

これまで人員削減など経営努力を重ね、県内で最も低い水準の水道料金を維持してきましたが、昨今の資材の高騰などにより、それも限界になりました。将来にわたって必要な更新事業を実施し、安定的に水道水を供給するためには水道料金を値上げせざるを得ない状況です。

今回の料金改定素案　平均改定率:25%

※4人家庭では約710円／月の値上げになります。



◆資料の閲覧方法　海田町ホームページからダウンロードできるほか、織田幹雄スクエア、海田東公民館、図書館、こうわシンギュラリティ高校ひまわりプラザおよび上下水道課(役場3階)で閲覧できます。(ただし開庁時間に限る)

◆意見の提出方法　住所・氏名を記入の上、持参、郵送、FAX、メールいずれかの方法により上下水道課へ提出してください。

◆意見募集期間　8月5日(火)～8月18日(月)

2 南海トラフ地震について

問 防災課(役場3階)　☎823-9208　FAX.823-7927

南海トラフ地震は、おおむね100～150年間隔で発生してきた大規模地震で、前回発生からすでに約80年が経過しており、切迫性は高まっています。

南海トラフ地震の想定震源域周辺でマグニチュード7.0以上の地震が発生した場合や相対的に地震発生の可能性が高まっている場合などには、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。「南海トラフ地震臨時情報」が発表された場合は、日頃からの備えの再確認やいつでも避難ができるよう準備をしておく必要があります。

この情報が発表されたとしても南海トラフ地震が必ず発生するとは限りませんが、日ごろから災害へ備えておきましょう。

地震が発生したらここに注意!

まずは身を守る行動をとりましょう。

自　宅→頑丈な机の下などに隠れて、頭を保護しましょう。

屋　外→ブロック塀や電柱など倒れる危険性があるものから離れましょう。

沿岸部→津波などの発生の危険性に備えて、安全な場所に避難しましょう。

備えはできていますか

- 食料、飲料水、常備薬、衣類など生活する上で必要な物を準備しておきましょう。
- ハザードマップなどを活用し、自宅周辺の安全な避難所などを確認しましょう。
- 家具が倒れ避難経路をふさぐことがないように配置や家具を固定するなど工夫しましょう。

☎海田町の市外局番は082です